

国語科学習指導案

言葉っておもしろいな

～方言と共通語～

(小学校 第5学年)

神奈川県立総合教育センター 嵯峨根 郁男



国語科では、言葉で伝え合う能力を高めることを目標に位置づけており、自分の考えを論理的に述べる能力、目的に応じた表現力や読み取る能力を育成することが求められています。これらの能力を育成するためには、児童が目的意識や課題意識を持って話す・聞く・書く・読むなどの学習活動を行うことが大事なポイントとなります。また、課題について調べたり、まとめたりしたことを相手に伝える活動を行うとき、ITは大きな力を発揮します。

そこで、本単元のねらいを、方言について興味・関心を持って調べ、自分なりの方法でわかりやすくまとめることと定め、調べる まとめる 発信する 相互評価する、それぞれの学習過程でIT機器を効果的に活用する学習指導案を作成しました。

小学校国語科学習指導案

1 学年 第5学年

2 単元名 言葉っておもしろいな ~方言と共通語~

3 単元のねらい

日本各地の方言に興味を持ち、意欲的に方言について調べたり、使ったりすることができる。

聞き取り、本、インターネットなど、様々な調査方法を活用するとともに、調べたことを、自分なりの方法でわかりやすくまとめることができる。

各地の方言の特徴に気付き、共通語との違いを理解することができる。

4 単元について（IT活用の視点から）

本単元は、方言について調べてまとめたことを、各自思い思いの方法で発表する活動を通して、方言の特徴に気づいたり、共通語との違いを理解することにねらいがある。子どもたちは、日頃テレビ番組等で、日本各地に方言があることはわかっているが、実際の言葉の使い方やその地方の文化との関係、また、自分たちが使っている言葉との共通点や違いまでは理解できていない。そのような児童が、方言に興味・関心を持ち、普段あまり行き来のない親類や知人などと積極的に連絡を取り、直接方言についての情報を収集できたら有意義な活動になるであろう。また、同じ日本でもこんなに言葉が違うという不思議さ・おもしろさを味わわせたい。

さて、一口に情報を収集し、まとめると言っても、得た情報の内容をそのまま書き写したり、貼ったりしたのでは言語力は身に付かない。誰に、何を、なぜ、どのように伝えたいのかという目的意識を常に持たせながら活動させたいと考えている。そして、図書館やインターネットから入手した資料を的確に読み取って、その内容を自分の言葉でわかりやすく書き直したり、友達の作品に対する感想や意見を相手に伝わるように簡潔に書くなど、目的に応じて書く力を高めることも本単元のねらいのひとつである。

今回は、2～3人のグループで学習を進めていくが、よりよい作品に仕上げるために、グループ内で話し合う活動と各グループがお互いに相互評価する活動を取り入れていきたい。そのような活動を通して、話す力と聞く力、そして、相手の考えを尊重する態度を育てていきたいと考えている。

このように情報を収集・整理し、発信するという本単元のねらいを達成するためには、学習の流れの中でITを効果的に活用していくことが必要となる。

そこで、本単元では、今後、すべての小学校において導入されるであろう、ワープロ・表計算・ペイント、インターネット機能を備えた統合学習支援ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、興味を持って調べたことを自分なりの方法でまとめ、情報発信できる能力を培うことを考えた。

具体的なIT機器の活用の効果であるが、まず、「方言関係サイトリンク集」を担当が事前に作成することにより、児童がインターネットで検索する時間を短縮することができる。次に、統合学習支援ソフトやプレゼンテーションソフトを活用することにより、方言新聞・方言集・方言地図・方言かるた・方言紙芝居・方言クイズ・方言くらべなど、調べたことの表現方法の幅が広がることが予想される。当然、写真や絵などの画像をデジタルカメラ、スキャナなどを使って作品に取り込む児童もいるであろう。

調べた方言を自分の声で録音し、作品の地図上にボタンとして貼り付けることも可能である。中には、親戚の方に、生の方言を音声メールで送っていただくことを考える児童もいるかもしれない。このような様々な児童の発想、要望に応えてくれる統合学習支援ソフトのすばらしい機能を十分に活用し、国語科における児童の伝え合う力を高めていきたい。

学習の最後に作品の相互評価を行うが、各グループが作成する作品の相互評価のページに、多くの友達の感想や意見が書かれて保存されるので、本人の自己評価能力の育成につながることが期待される。また教師の立場からすると、個々の児童の作品をパソコンの画面上で次々に評価できるだけでなく、作品に書かれた子どもたちの感想や意見を評価することもできるので非常に効率的である。

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<p>ア 身近な生活から、方言について意欲的に情報を集めようとしている。</p> <p>イ 友達同士、お互いに良い点を認め合い、よりよい作品を作ろうとしている。</p>	<p>ア 書く必要のあることを整理して書くことができる。</p> <p>イ 自分の感想や意見を相手にわかりやすく簡潔に書くことができる。</p>	<p>ア 図書室の本やインターネットで検索した文章から必要な情報を的確に読み取ることができる。</p> <p>イ 自分の考えを明確にしながら人の作品を読むことができる。</p>	<p>ア 方言の特徴に気づき、共通語との違いを理解することができる。</p>

6 指導計画（8時間扱い）

	学習のねらい ・ 主な学習活動	指導のポイント	本単元で扱いたい I T 機器の活用例	評価項目			
				関	書	読	言
1	<p>方言と共通語の意味とその違いを知る。</p> <p>・ いろいろな方言を聞き、意味を考える。</p> <p>・ 知っている方言を発表する。</p> <p>方言について、調べたいことを決める。</p> <p>特定の地域の方言を調べる。</p> <p>いろいろな地域の方言を調べる。</p> <p>特定の言葉の地域ごとの違いを調べる。</p>	<p>VTR・CD・テープなどでいくつかの方言例を紹介する。</p> <p>日常生活の中から方言の使用例を見つけることができたか。</p>	VTR・CD・テープ	ア			
2	<p>グループづくりをする。</p> <p>・ 友達の研究内容を知る。</p> <p>調べる計画を立て、学習の見通しを持つ。</p> <p>・ 情報の収集方法を考える。</p>	<p>同じような研究内容の者同士2人～3人のグループを作る。</p> <p>自分たちでできることから考えさせる。</p>	<p>電話・FAX</p> <p>電子メール</p>	イ			

	<p>インターネット 図書館 先生方 知人への聞き取り FAX メール</p> <p>・情報のまとめ方について考える。</p> <p>方言新聞 方言集 方言地図 方言かるた 方言紙芝居 方言クイズ 方言くらべ</p>	<p>調べる内容にふさわしい情報収集方法とまとめ方であるかを考えさせる。</p> <p>学習統合ソフトの活用の仕方を例示する。</p>	<p>インターネット検索</p> <p>統合学習ソフトの活用の方法</p>				
3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<p>計画に従って方言について調べたことをまとめる。</p> <p>・役割分担をする。(情報収集とまとめ)</p> <p>・いろいろな方法で情報を収集する。</p> <p>・集めた情報を記録・保存する。</p> <p>・収集した情報を整理し、わかりやすく加工する。</p> <p>・画像や音声を貼り付ける。</p> <p>・地図の上に文字を書く。</p> <p>・方言を表にまとめる。</p> <p>・自分の感想や考えをまとめる。</p> <p>・相互評価のページを作成する。</p>	<p>方言に関するリンク集を提示し、活用方法を説明する。</p> <p>発表の方法に合った情報の収集・記録の仕方を考えるよう示唆する。</p> <p>文書作成、表計算、ペイントの各機能を効果的に活用するよう助言する。</p>	<p>リンク集作成の仕方</p> <p>デジタルカメラやスキャナからの画像の取り込み</p> <p>データ整理 方言の音声記録化</p>	ア		ア	
7 (本時) ・ 8	<p>お互いの作品を鑑賞し合う。</p> <p>・友達の作品を順番に見る。</p> <p>・評価のページに感想や意見を書く。</p> <p>・書かれた感想や意見を読み、修正を加える。</p>	<p>作品の表現の工夫などに気付いているか。</p> <p>自分の感想や考えをわかりやすく書けたか。</p>	<p>PCルーム教育システム</p>	イ	イ	イ	ア

7 本時の目標

よりよい作品にしようとする意欲を持つことができる。

作品の良さや工夫しているところを相手に伝えるように自分の言葉で簡単に書くことができる。

他のグループの作品から、いろいろな方言の特徴に気づき、共通語との違いを理解することができる。

8 本時の展開(7/8)

学習活動と内容	教師のかかわり	評価
1 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 作品を鑑賞し合い、方言の学習を深めよう。 </div>	

<p>研究テーマが他グループにわかるように表示を工夫する。</p> <p>学習発表会の手順を把握する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達の作品の良いところを見つけ、自分たちの作品に生かそう。</p> </div> <p>興味のある作品から見て回るよう助言する。</p>	
<p>2 他のグループの作品を見て感想や意見を書く。</p> <p>作品を見て学習する。</p> <p>学習カードに記入する。</p> <p>感想・意見を書く。</p>	<p>新たにわかったこと、興味を持ったこと、感心したこと、アドバイスしてあげたいことなどを学習カードに記入するよう助言する。</p> <p>相手に自分の考えがはっきりと伝わるように、書き方を工夫する視点を提示する。</p> <p style="padding-left: 40px;">どの点が良いのか（良くないのか）</p> <p style="padding-left: 40px;">どうして良いのか（良くないのか）</p> <p style="padding-left: 40px;">どうしたらもっと良くなるか。</p> <p>相互評価欄には記名して書くように指示する。</p>	<p>【知識・理解・技能】</p> <p>いろいろな方言の特徴に気付き、共通語との違いを理解することができる。</p> <p><学習カード></p> <p>【書く能力】</p> <p>自分の感想や意見を相手にわかりやすく簡単に書くことができる。</p> <p><作品中の相互評価欄></p>
<p>3 作品をより良いものに仕上げる。</p> <p>感想や意見を読み、話し合う。</p> <p>自分の担当の部分に修正を加える。</p> <p>4 次の時間に修正した作品で発表を行うことを確認する。</p>	<p>納得のできる友達の意見は、積極的に取り入れるように、反対に、意味がわからないところなどは書いた本人に聞くよう指示する。</p> <p>修正後、指摘した児童に確認してもらうようにする。</p> <p>良い作品、児童の評価の高い作品を一斉送信により全員に紹介する。（PCルーム教育システム）よりよい作品にしようとする意欲を持つことができるようにする。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>友達同士、お互いに良い点を認め合い、よりよい作品を作ろうとしている。</p> <p><グループでの話し合い></p> <p><作品を鑑賞する態度></p>

方言リンク集

< 児童に紹介するリンク集 >

Y A H O O きっず「日本の」方言リンク集

http://kids.yahoo.co.jp/around_the_world/languages/Nihon_no_Hogen/

山形県三川の方言

http://www.town.mikawa.yamagata.jp/hougen/hou_top.html

ふるさとの方言

<http://nlp.nagaokaut.ac.jp/hougen/>

方言の学習

<http://www.saga-ed.go.jp/materials/edq01459/>

キッズg o o 方言リンク集

<http://kids.goo.ne.jp/sirabemono/note028.html>

< 指導者が参考にしたいリンク集 >

方言データベースを作ろう

<http://application.nicer.go.jp/contents/1827/kyozai.html>

全国方言アンケートの協力を頼もう

<http://application.nicer.go.jp/contents/3348/28de6763-1169-11d5-9160-00e0298723b7/kyozai.html>

方言を調べる計画を立てよう

<http://application.nicer.go.jp/contents/3352/7b876aa1-1191-11d5-9160-00e0298723b7/kyozai.html>

アンケート結果をもとに、交流校を見つけよう

<http://application.nicer.go.jp/contents/3348/28de676c-1169-11d5-9160-00e0298723b7/kyozai.html>